

株式会社クボタ
第 136 回定時株主総会 インターネット事前質問へのご回答
(2026 年 3 月 19 日 (木))

インターネットにて事前に株主の皆様から寄せられたご質問につきましてご回答いたします。

Q. 株主総会のライブ配信を今回からやめたとのことですが、その理由を具体的に教えてください。

A. (株主総会でご回答)

当社では、2021 年に新型コロナウイルス感染症対策として移動が制限される中、株主の皆様との接点を維持する観点から、株主総会当日のライブ配信を実施してまいりました。

一方で、最近のライブ配信の参加状況をふまえますと、想定よりもかなり少ない状況であることから、本総会よりライブ配信は取りやめ、総会終了後に内容をご覧いただけるアーカイブ配信へ見直しました。今後も株主の皆様とのコミュニケーションは様々な形で検討してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q. 株主配当に努めて頂くようお願いします。

A. (株主総会でご回答)

当社の配当に関しては、従来から業績が悪化した状況であっても維持してまいりました。長期かつ安定的に当社の株を保有していただくため、配当水準の底上げも必要という認識から、今後も累進配当を基本的な考えとしています。中期経営計画においても、フリーキャッシュフローの配分にあたって株主の皆様への還元も重要視しております。今後、フリーキャッシュフローの増大に努め、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

Q. フィジカル AI や衛星データ活用、関税や為替対応、地政学リスクの高まり、東証改革対応など時代の変化が激しい中、社内外ともに任期が長く、高齢の取締役メンバーがいるが、問題は無いのか？

A. (株主総会でご回答)

取締役の任期は 1 年としており、社内・社外ともに毎年のパフォーマンスをふまえて再任の可否を判断しています。最大任期の定めはありませんが、社内取締役には上限年齢を設け、社外取締役についても独立性確保の観点から、長期にならないよう任期を検討しております。

指名諮問委員会では、年齢や性別だけでなく、今の当社に必要な経験・能力や取締役会全体の多様性を重視すべきとの意見も多くありました。一方で、新陳代謝の重要性もふまえ、今後も十分に議論を重ね、社内外の候補者プールの整備も進めております。

以 上